

# 第2章

## 計画の現状と課題

～さらなる地域福祉の推進のために～

1. 地域福祉施策の進捗評価
  - (1) 地域団体の取り組みの把握
  - (2) 行政における進捗状況調査
  - (3) 地域福祉計画に関連する市民意識調査
2. 各調査から考える地域福祉の現状と課題

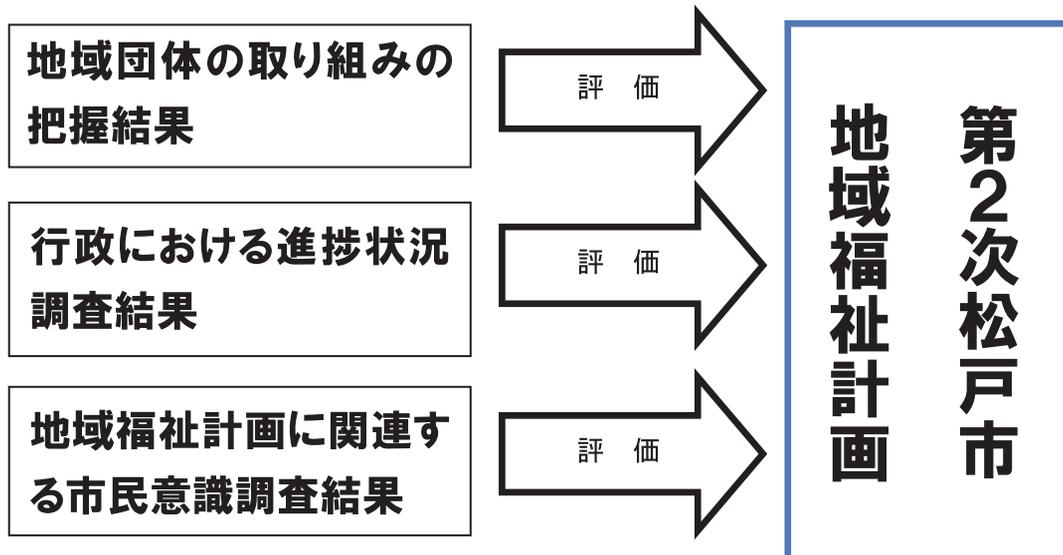


【松戸神社】

市内を代表する神社で、夏には近くで坂川献灯まつりが開催され、冬には河津桜がきれいです。

## 1 地域福祉施策の進捗評価

地域福祉計画を評価するには、多様な方法から評価する必要があると考えられます。そのため、現行の第2次松戸市地域福祉計画の評価は、(1) 地域団体の取り組みの把握、(2) 行政における進捗状況調査、(3) 地域福祉計画に関連する市民意識調査の3つの方法で評価しました。



### (1) 地域団体の取り組みの把握

地域福祉を進めるには市民や町会・自治会、ボランティア、NPO\*、各種の団体の支えが重要であるため、今後、重点項目の「地域での支え合い活動の推進～孤立させない地域づくり～《声かけ・見守りの推進》」、また4つの推進項目「地域での防災・災害時要援護者」、「地域福祉推進のための担い手の育成」、「地域での交流・ふれあいの場づくり」、「ふるさとづくりの推進」に重点をおいて地域でどのような活動が行われ、問題が生じているのか等を把握するために実施しました。

#### ■調査方法

- (1)対 象：松戸市で活動する民間企業、複合サービス、福祉関係機関、市民活動登録団体、地域団体、町会・自治会
- (2)期 間：平成27年3月～5月
- (3)方 法：郵送・FAX・メールによる配布・回収

■ 調査対象

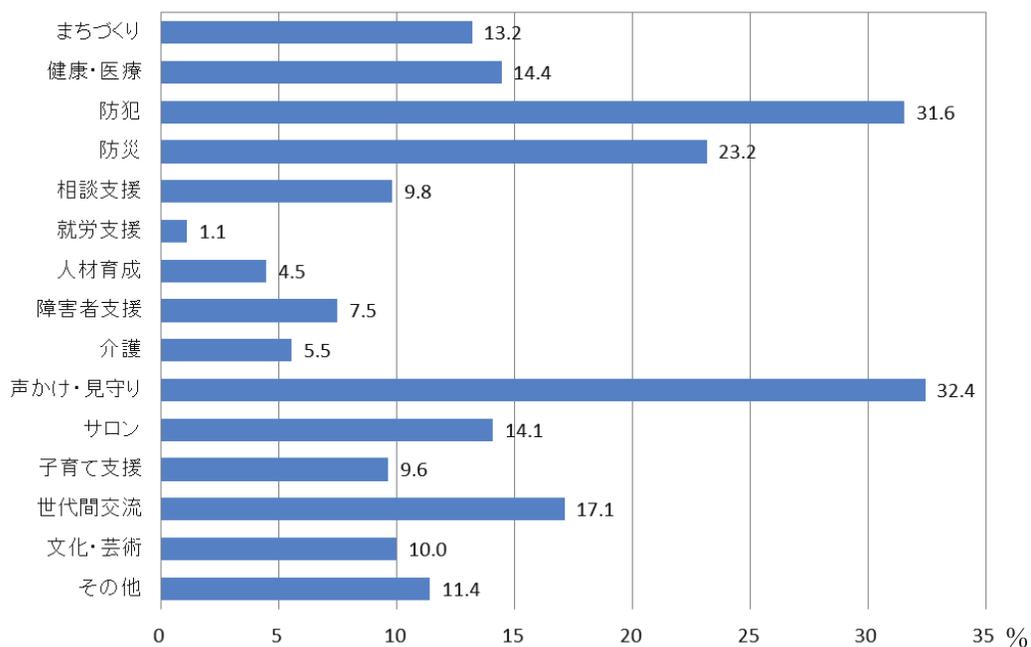
No.	種 別	配布数	回収数	回収率(%)
1	民間企業	7	4	57.1
2	複合サービス	49	4	8.2
3	福祉関係機関	81	36	44.4
4	市民活動登録団体	113	56	49.6
5	地域団体	63	52	82.5
6	町会・自治会	364	198	54.4
	計	677	350	51.7

■ 回答結果 (抜粋)

(1) 地域活動の取り組みの分野(複数回答)

地域で、「声かけ・見守り」、「防犯」、「防災」に関連した取り組みを行う団体が多いです。

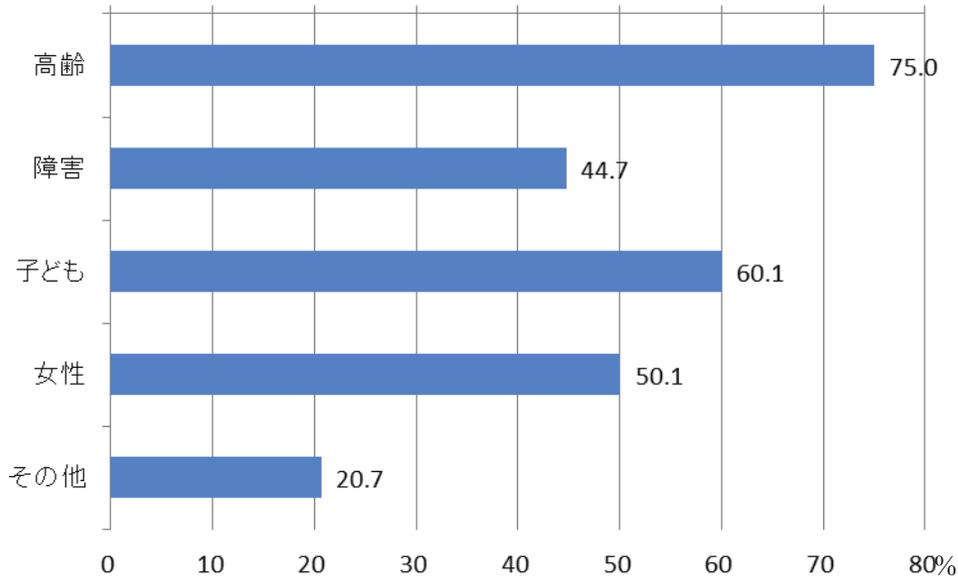
回答数：561



## (2) 地域活動の取り組みの対象者(複数回答)

「高齢者」、次いで「子ども」、「女性」に対して取り組んでいる団体が多くなっています。

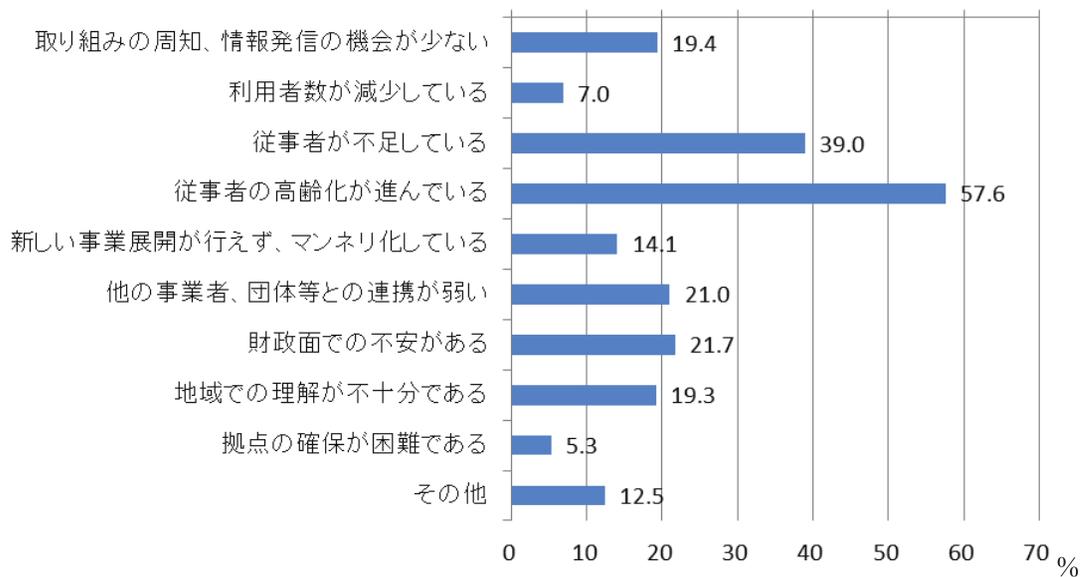
回答数：561



## (3) 取り組みを行う上での問題点(複数回答)

「従事者の高齢化が進んでいる」、次いで「従事者が不足している」が最も多く、地域で取り組む上で担い手不足が大きな問題点となっています。

回答数：561



## (2) 行政における進捗状況調査

行政における進捗状況調査は、行政の取り組みの進捗状況を把握する目的で、第2次松戸市地域福祉計画期間である平成25年度から平成29年度まで、各担当課が目標をかかげ、その達成状況の評価を行いました。調査は毎年1回行い、基本目標ごとの関連事業について、計画の方向性・計画目標・達成状況を評価しました。なお、自己評価については、A～Dの4段階で評価しました。

### 【評価内容】

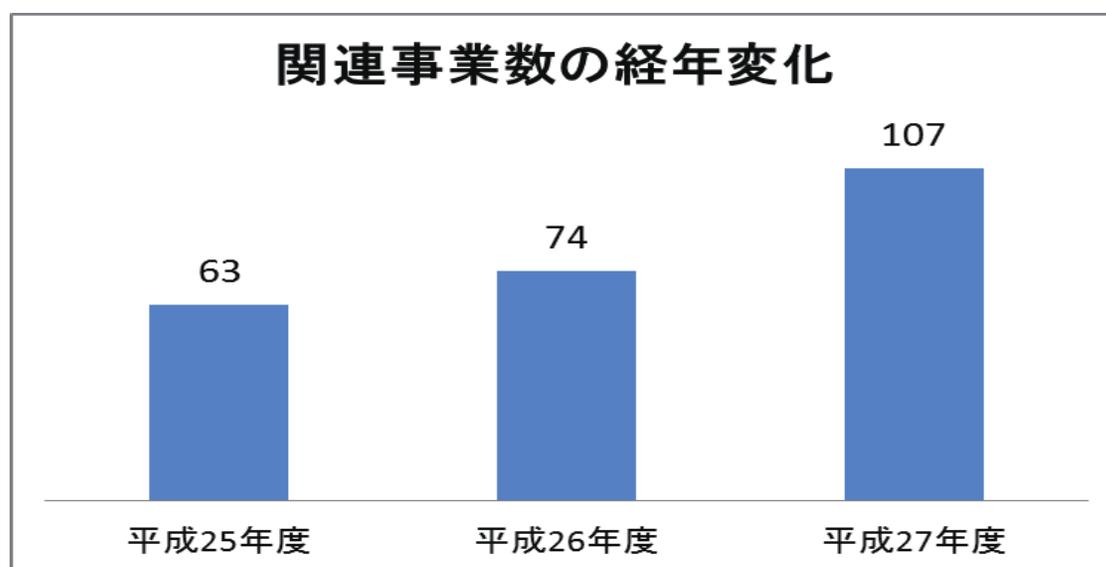
- A: 計画目標 (H29) に向けて順調に推移している
- B: 計画目標 (H29) に向けて概ね順調に推移している
- C: 計画目標 (H29) に向けて進捗はやや遅れている
- D: 計画目標 (H29) に向けて進捗は遅れている

※ 調査の詳細結果は資料編に掲載しています。

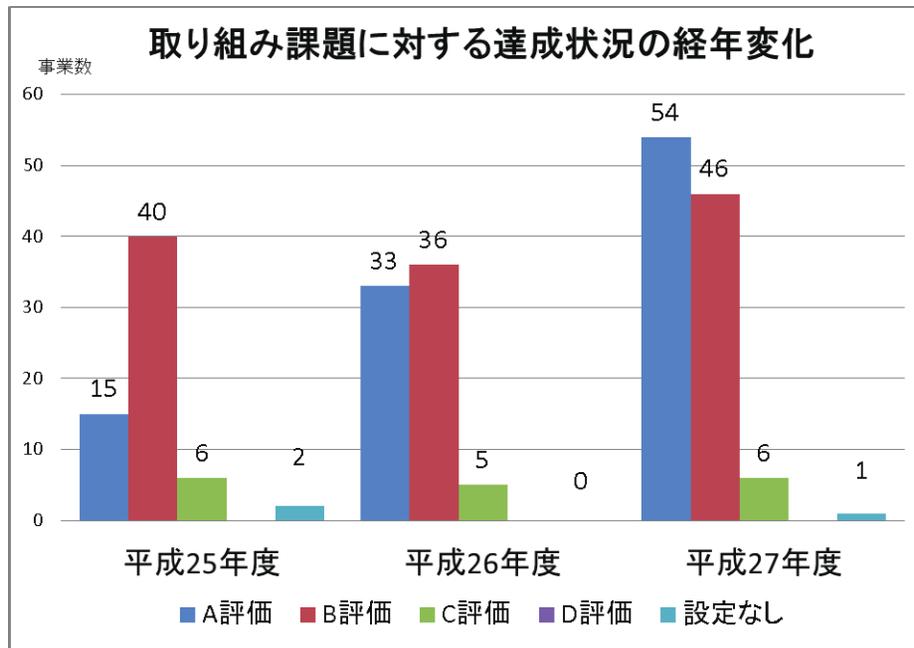
### ■ 調査結果

地域福祉は、幅広い分野を横断的に包括していくため、毎年関連事業の精査を行い、各担当課に協力を仰ぎながら、計画を進めています。

地域福祉計画の関連事業数を経年変化でみていくと、平成25年度が63事業、平成26年度が74事業、平成27年度には107事業と年々増加しています。



また、達成状況の評価も経年変化で見えていくと、年度が進むにつれ、「計画目標（H29）に向けて順調に推移している」ことを表す「A評価」が平成25年度で15事業だったのが、平成27年度には54事業になっています。取り組み課題の多くが目標に向け、順調に推移していったことがわかります。



### （3）地域福祉計画に関連する市民意識調査

地域福祉計画は健康福祉分野の個別計画のみならず、まちづくりや男女共同参画などの行政計画と連携・方向性を合わせています。そのため、「松戸市総合計画\*」や「第7期松戸市高齢者保健福祉計画・第6期松戸市介護保険事業計画（いきいき安心プランVまつど）」などの各計画で行われている市民アンケート調査を参考にし、基本目標ごとに市民の皆様が福祉についてどのように考えているのかを知るため、下記の通り抜粋して次期計画である第3次松戸市地域福祉計画の策定に活かしました。

#### ■基本目標1 安心して暮らせるまちづくり

取り組み課題3 地域での防犯・安全対策

問い 松戸市で生活する中での「事故や災害に強い安全なまち」に関する満足と考える人の割合【総合計画後期基本計画】

結果 8.6%（平成25年度） ⇒ 12.4%（平成27年度）

取り組み課題 1 地域での防災・避難行動要支援者の避難支援体制づくり

問い あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。【総合計画後期基本計画】

結果

H25 ⇒ H27

・特に準備はしていない：	19.6%	⇒	17.8%
・水や食料の備蓄：	50.8%	⇒	51.7%
・非常持ち出し用具の確保：	33.6%	⇒	34.7%
・家具などの転倒防止：	33.1%	⇒	35.5%
・身内との連絡方法の確立：	29.3%	⇒	26.0%

**安全で災害に強い街への満足度は約1割であるものの、災害時に備えて自助努力する人の割合は、増加しています。**

取り組み課題 7 相談支援・情報提供の充実

問い 生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。【後期基本計画】

結果

平成 27 年度

現在の生活や家計	21.3%
将来の生活や家計	53.7%
将来自分や家族が必要になったときの介護	54.8%

取り組み課題 7 相談支援・情報提供の充実

問い 地域包括支援センター\*を知っていますか。【いきいき安心プランV(平成 27 年 3 月)】

結果

知らないと回答した方の%	平成 27 年度
若年者	70.7%
一般高齢者	64.3%
在宅介護認定者	32.7%

**自分や家族の将来の生活や介護に不安を抱く人が約半数おり、若年者では地域包括ケア体制を知らない人の割合が約7割です。**

高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）：平成 17 年の介護保険法の改正により、新たに地域の高齢者の心身の健康保持や生活の安定のために必要な援助を行うことを目的として設けられた施設です。

## ■基本目標2 自立と参加の促進

取り組み課題2 生涯学習の推進

問い 学習活動の成果を地域社会に活かしている市民の割合【総合計画後期基本計画】

結果

58.9% (H25) ⇒ 60.9% (H27)

**自主的な学習活動を地域社会に活かしている人は、約6割います。**

問い 市民活動に参加したことがない理由【協働推進計画(平成24年3月)】

結果

- ・きっかけや機会がない：48.9%
- ・忙しくて時間がない：38.8%
- ・活動に関する情報が得られない：26.7%

※参考【厚生労働省「人口減少社会に関する意識調査」(H27)】

問い 市民活動に参加したことがない理由

結果

- ・参加するきっかけが得られない 38.4%
- ・活動する時間がない 43.5%

**約5割の人が市民活動に参加するためのきっかけ、機会がないと感じており、松戸市だけでなく、全国的にも約4割がきっかけがないと感じています。**

取り組み課題5 障害者の自立した地域生活の支援

問い あなたは福祉を充実させるために、地域でどのようなことをしたいと思いますか【障害者計画(平成24年3月)】

結果

- ・ボランティア活動に参加することはむずかしいが、援助が必要な友人や知人などに出来る限りのことをしたい：38.0%
- ・自分のことで手一杯なので、今のところは何もできない：33.8%

**約4割の人がボランティア活動に参加することは難しいが、援助が必要な友人、知人に協力したいと感じています。**

## ■基本目標3 支え合い共に生きるまちづくり

取り組み課題4 子どもや高齢、障害者等への虐待・暴力の防止

問い あなたは身近なところで虐待かもしれないと思ったことはありますか  
【子ども総合計画】

結果

・虐待かどうかわからないが、おかしいなとおもったことがある：13.0%

**児童虐待を疑った経験のある人の割合が約1割います。**

取り組み課題5 地域での交流・ふれあいの場づくり

問い 地域活動に参加していますか【健康松戸 21Ⅲ(平成 26 年 11 月)\*】

結果

参加している 29.3%

(内訳) 自治組織活動 :42.6%

地域行事 :26.9%

高齢者の支援 :5.6% (複数回答も可能)

**約3割の人が地域活動に参加していて、そのうち約4割の人が自治組織活動に参加しています。高齢者を支える地域活動に参加している人の割合は、1割未満です。**

取り組み課題6 子ども・子育て支援

問い 普段、お子さんを育てているあなたの気持ちはどうですか  
【子ども総合計画(平成 26 年 3 月)】

結果

・子どもがいると毎日楽しい：

(未就学児保護者) 72.9% (H21) ⇒ 73.6% (H25)

(小学生保護者) 68.2% (H21) ⇒ 70.6% (H25)

・子育てについて不安になったり悩むことがある：

(未就学児保護者) 54% (H21) ⇒ 64.1% (H25)

(小学生保護者) 59.8% (H21) ⇒ 64.1% (H25)

**子育てに不安になったり、悩むこともあるが、子育てを楽しむ人の割合が約7割です。**

## ■基本目標4 福祉文化の創造

### 取り組み課題1 心のバリアフリー\*

**問い** あなたは、人権が日頃守られていないと感じることがありますか【後期基本計画】

**結果**

平成25年 ⇒ 平成27年

障害者の人権問題：	16.6%	⇒	18.4%
高齢者の人権問題：	16.2%	⇒	15.9%
女性の人権問題：	17.8%	⇒	13.7%
子どもの人権問題：	11.9%	⇒	11.0%
患者の人権問題：	11.8%	⇒	9.3%
外国籍市民の人権問題	6.0%	⇒	5.3%

人権が守られているとの回答は、約半数。平成18年度以降、上昇している。

**心のバリアフリーの実現には、人権意識の醸成が必要であり、人権が日頃守られていると感じる人は平成18年度以降高まっています。**

### 取り組み課題2 世代間交流

**問い** あなたは、現在、地域の清掃やお祭りのお手伝い、子ども会やボランティア\*活動に参加していますか【子ども総合計画】

**結果**

H22 ⇒ H26

・参加していない割合	小学5年生	65.5%	⇒	81.3%
	中学2年生	84.4%	⇒	83.0%

**問い** 多様な世代と交流する機会のある人の割合【総合計画後期基本計画】

**結果** 男性 7.3% (H27)、女性 7.6% (H27)

**子どもが地域活動などに参加する機会が少なく、意識的に様々な世代が交流するチャンスを創っていくことが課題です。**

心のバリアフリー：高齢者や障害のある人が生活していく上で障害となる、人々の心の中の誤った知識や情報、差別意識などを改め取り除くことです。

**取り組み課題4** ふるさとづくりの推進**問い** 松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合

【総合計画後期基本計画】

**結果** 15.8%（H25） ⇒ 17.1%（H27）**問い** 特色ある祭りや地域ぐるみのイベントの満足度の割合

【総合計画後期基本計画】

**結果** 13.3%（H25） ⇒ 19.3%（H27）

**松戸の良さを他の人に伝えている人の割合は、約2割で推移していますが、特色ある祭りや地域ぐるみのイベントの満足度は、向上しています。**

## 2 各調査から考える地域福祉の現状と課題

(1) 地域団体の取り組みの把握結果、(2) 行政における進捗状況調査、(3) 地域福祉計画に関連する市民意識調査の3つの方法から、地域福祉を推進する中で、下記に示す現状と課題が考えられます。

- 行政において、地域福祉の視点が浸透し、地域福祉に係る事業が着実に進んでいます。
- 地域活動の内容は、声かけ・見守りなど高齢者に対する取り組みが最も多くなっています。
- 地域活動を行う団体において、従事者の高齢化が進み、団体の活性化が求められています。
- 誰もが市民活動や地域活動に参加しやすいきっかけ、機会をつくるために、情報提供の方法など様々な世代に対応する創意工夫が必要です。